

2016年8月1日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

温泉バイナリー発電設備向け割賦取組について

三井住友ファイナンス&リース株式会社(取締役社長:川村 嘉則、以下「SMFL」)は、株式会社洗陽電機(代表取締役社長:乾 正博、以下「洗陽電機」)の温泉バイナリー発電事業向けに、発電設備の割賦契約を締結しました。

割賦契約の対象はバイナリー発電装置、熱交換機、温水冷却ポンプなどの発電設備一式であり、この設備利用により、洗陽電機が出資する第1小浜バイナリー発電所合同会社(以下「小浜バイナリ」)が定格出力125kWの温泉バイナリー発電を行います。

バイナリー発電では100℃以下の沸点の低い熱でも発電が可能であり、未利用の温泉熱を有効に活用することができます。また、天候や気候の影響を受けることが少なく、24時間安定した発電が可能なおことから、地産地消型のベース電源として期待されています。

本件の発電設備は、小浜バイナリが雲仙市(長崎県)より借り受けた土地に設置され、同市より熱源となる温泉の供給を受けます。発電される電力は雲仙市小浜町の10か所の温泉旅館をはじめとして、病院、老人福祉施設、観光施設などの九州地区で使用されます。小浜町の小浜温泉では、泉温約100℃の温泉が一日当たり15,000t湧き出ていますが、その70%以上が未利用のまま海に排出されており、この一部が有効に活用されます。

SMFLは、温泉バイナリー発電事業に加え、バイオマス発電事業、小水力発電事業等へのリース・割賦取引により、地域共生・地産地消の普及に貢献してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

広報IR推進室 五十嵐 TEL 03-5219-6334